

まち育てだより

本下まち育で塾 第 6 号 2009年1月発行

町家寄席と竹灯籠の夕べ - 国登録文化財登録 1 周年記念 -

- 国登録文化財登録 1 周年記念 -平成 20 年 12 月 7 日(日)武蔵屋にて

「木下まち育て塾」結成5周年と、「岩井家住宅主屋(旧武蔵屋店舗)」が、国の登録有形文化財に登録となって1周年を記念し、「町家寄席と竹灯籠の夕べ」を岩井家の多大なるご協力により開催いたしました。

当日は、東京電機大学の滋賀秀實教授による町家の講話と、昭和 30 年頃の手賀排水機場の建設を主とした手賀沼干拓の歴史のビデオ上映。 その後、印西市高花在住の落語家「金原亭馬治」氏による長屋や家を 舞台とした落語を披露していただきました。

さらに、庭園の竹灯籠は、ご主人の岩井宗志氏と会員の広瀬秀一氏の

力作で、開催前日まで昼夜孟宗竹と戦いの末、素晴らしい演出として馬治氏の落語を盛りたてていました。、参加した約70名の方々は、落語と併せて木下駅圏に残る宝物「町家」での夕べのひと時を堪能していました。



庭園の竹灯籠



町家は超満員!



印西市在住 金原亭馬治氏

木下駅橋上化・自由通路オープン記念 企画展

「成田線史とよもやま話&なつかしのきおろし駅」展 及び 公開講座 平成 20 年 12 月 16 日(火)~平成 21 年 1 月 24 日(土) 印西市立中央公民館

明治34年4月に成田線が開通、木下駅が誕生しました。 大正10年に駅舎が建て替えられてから、幾度かの改修により今までの木下駅が存在していました。そして、平成20年12月、木下駅が橋上駅に建て替えられ、87年の長きにわたり印西市の玄関口として市民を見守ってくれた駅舎と跨線橋が取り壊されることとなりました。

そこで、木下駅にかかわる昔の写真や資料を展示して、 木下駅の歴史を市民の心に刻んでいただくため、企画展示 を開催しました。

また、1月24日には、展示資料の所有者でもあり、以前いんざい広報に連載していた「成田線史とよもやま話」の 筆者でもある大貫秀雄氏による公開講座と展示案内も行いました。



展示風景と大貫氏